

【2023年卒】仕事体験できるインターンシップがあれば「参加したい」と回答した学生が91.2%。

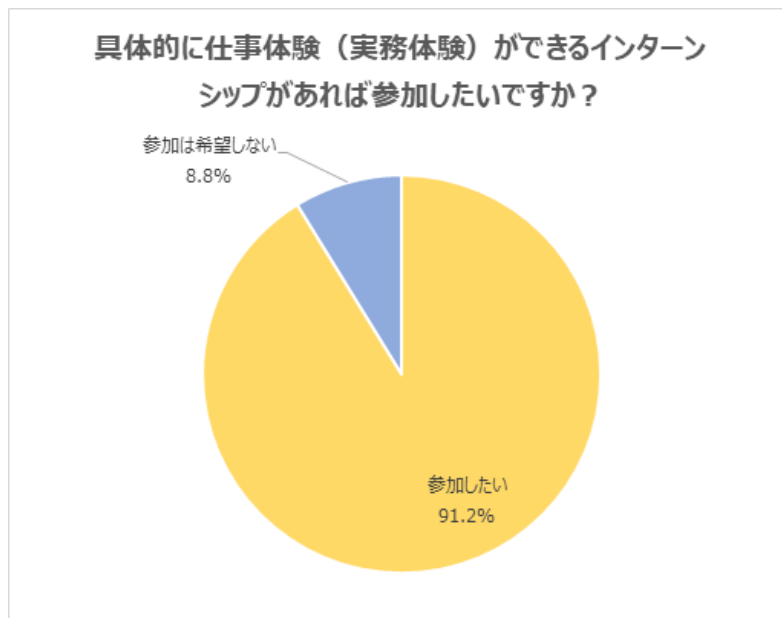
「セミナーで話を聞くだけでなく、実際に体験したほうがより理解できると思う」の声。

株式会社学情は、2023年3月卒業（修了）予定の大学生・大学院生を対象に、就職活動に関するインターネットアンケートを実施。今回は、「インターンシップでの仕事体験」に関して調査しました。具体的に仕事体験ができるインターンシップに、91.2%の学生が「参加したい」と回答。「参加したい」とした学生からは、「話を聞くだけでなく、実際に体験したほうがより理解できると思う」「仕事を体験することで、適性や今後伸ばしていくべきポイントを知りたい」といった声が寄せられました。就職活動だけでなく入社後を見据えて、「仕事体験」を希望していることが分かります。また、仕事体験ができるインターンシップで、希望する参加日数は「2日～3日」が52.2%で最多となりました。「1日では仕事や会社の雰囲気を理解することが難しいと思う」「1週間以上などになると、他の企業のインターンシップに参加することが難しくなってしまう」などの声が挙がっており、「仕事内容を深く理解すること」と「複数の企業のインターンシップに参加すること」の両方を重視していることが分かります。

【TOPICS】

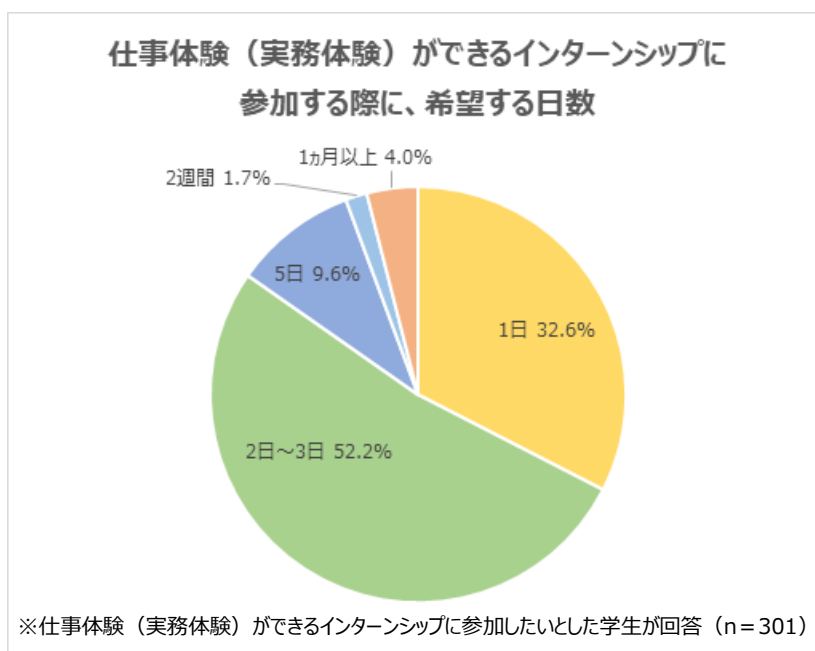
- (1) 仕事体験（実務体験）ができるインターンシップがあれば「参加したい」と回答した学生が91.2%
- (2) 仕事体験（実務体験）ができるインターンシップに参加する際に希望する日数は「2日～3日」は52.2%で最多
- (3) オンラインで参加を予定するインターンシップの形式は「業界研究や仕事研究などのセミナー形式」が最多

- (1) 仕事体験（実務体験）ができるインターンシップがあれば「参加したい」と回答した学生が91.2%



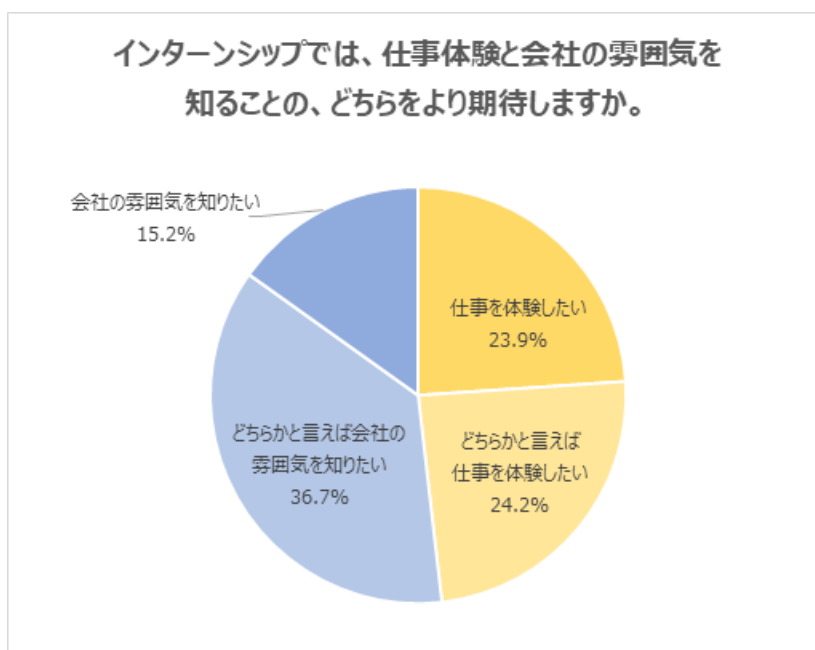
具体的に仕事体験（実務体験）ができるインターンシップについて、91.2%の学生が「参加したい」と回答。「参加したくない」8.8%の、10倍以上の回答を集める結果となりました。「参加したい」とした学生からは、「ミスマッチをなくすために、仕事理解を深めたい」「セミナーなどで話を聞くだけでなく、実際に体験したほうがより理解できると思う」「仕事を体験することで、適性や今後伸ばしていくべきポイントを知りたい」といった声が寄せられました。就職活動だけでなく入社後を見据えて、「仕事体験」ができるインターンシップを希望していることが分かります。

(2) 仕事体験（実務体験）ができるインターンシップに参加する際に希望する日数は「2日～3日」は52.2%で最多



仕事体験（実務体験）ができるインターンシップに参加する際に、希望する参加日数は「2日～3日」が52.2%で最多となりました。「1日では仕事や会社の雰囲気を理解することが難しいと思う」「1週間以上などになると、他の企業のインターンシップに参加することが難しくなってしまう」「部活動などのスケジュールを考えると、数日間で参加できるインターンシップが参加しやすい」などの声が寄せられました。「複数日程のインターンシップで、仕事内容や企業の雰囲気の理解を深めたい」「複数の企業のインターンシップに参加したい」という思いが、「2日～3日」開催の人気につながっていると想定されます。

(3) インターンシップでより期待することは「仕事体験」と「会社の雰囲気」がほぼ同割合



インターンシップでは、「仕事体験と会社の雰囲気を知ることのどちらをより期待しますか」という質問においては、「仕事を体験したい」（48.1%）と、「会社の雰囲気を知りたい」（51.9%）がほぼ同割合になりました。

■調査概要

- ・調査対象：「あさがくナビ 2023（ダイレクトリクルーティングサイト会員数 No.1）」へのサイト来訪者
- ・調査方法：Web 上でのアンケート
- ・調査期間：2021 年 8 月 2 日～2021 年 8 月 10 日
- ・有効回答数：330 名

東証一部上場

学情

